

高校生ボランティア講習会



〔講習スタート！〕



〔真剣なまなざしです〕



〔火起こしにチャレンジ〕



〔いい感じ！〕



〔うどん打ちは生地作りから〕



〔うどんを伸ばしています〕



〔切る工程は慎重に〕



〔みんなで「いただきます」〕

【マネージャーコメント】

志を高く持った高校生6名が貴重な休日に来てくれました。参加してくれた高校生の皆さんには、どの講習内容も非常に有意義だったと思います。

研修の最初に、置賜教育事務所 社会教育課 社会教育主事の秋山憲司様と飯豊少年自然の家ホームリーダー遠藤なお様のお二人から講話を頂きました。秋山様からは、昨年の水害で活躍してくれた高校生ボランティアの頑張る姿を見て感じられた「山形県の高校生は素晴らしい」話、遠藤様からは「ボランティア活動によって自分が変わった」話をお聞きしました。お二人とも自分の体験をもとにした講話内容でとても感動をしました。高校生皆さんの心にも大きく響いたのではないかと思います。

活動研修として「火起こし」「うどん打ち」をしてもらいました。どちらも自然の家の研修内容には必要不可欠な活動です。どちらの研修も大変苦労したようでしたが、高校生の皆さんには徐々に創意工夫が生まれ成功した成功しないにかかわらず6名全員に大きな経験として蓄積されたのではないかと思います。

今回の講習会に際し多大なご協力を多方面から頂きました。所員一同、心より感謝申し上げます。次回の講習会や今後のあらゆる活動に際しましてもご協力いただければ幸いです。

【参加者からの主なコメント（一部抜粋）】

- ボランティアは、相手のためでもあるけれど、自分のためにもなるということを知ることができた。
- ボランティアは、自分で行動して周りを助けることだと思った。
- ボランティアは、自分にも他者にも利益があり、損はほぼないと思った。
- ボランティアの4原則を初めて知った。ボランティア活動は、災害時の支援だけではなく、高齢者や障がい者、子育て支援も含まれているということを知り、今回参加しなければ知らないことがたくさんあったのだなと思った。
- ボランティアを通して、コミュニケーション能力や社会性が培われるため、自分のためにもなるし、相手のためにもなることがわかった。
- ボランティアを通して、普段気づかないことに気づくことができたり、新しい自分の一面を知るきっかけになることがわかった。
- 支える側、支えられる側の両面の視点を知ることができ、考え方が新鮮だった。